

令和6年度 大阪府立交野高等学校 第3回学校運営協議会議事録

日 時：令和7年2月19日（水）15時30分～17時00分

場 所：本校会議室

出席者（敬称略）：吉田巖（委員長）、中田恵理子（副委員長）、白川安考（委員）、
森脇正子（委員）、中山尚美（委員）

校長、教頭、事務長、首席、指導教諭（生徒指導主事）、教務主任

協 議 内 容：

（1）令和6年度学校経営計画の評価について

・補習を積極的に行っていることを、もっと保護者へ伝えるべき。（吉田委員長）

進路を決めかねている生徒が多いという結果だけで、進路に関して適切に指導してくれてないと捉えられている（首席）

・教員に対し入試対策講座の手当を出すことは不可能なのだろうか。（吉田委員長）

・アンケート結果で、先生方がカウンセリングマインドを持って生徒と関わりを持っているのがよく分かる。文化祭等で生徒が活躍できる機会が多いことも要因だろう。（中田委員）

・生徒から校則の見直しの申出があれば、理由を丁寧に説明している（生徒指導主事）

（2）令和7年度学校経営計画（案）について

・国際交流に関する取り組みは学校全体の取り組みとして項目をあげた。（校長）

・普通科でも国際交流活動は行われているのでその判断は正しい。（中田委員）

（3）学校教育自己診断の結果について

・「将来の進路」とは進学先のことだけではないとわかる文言にするべき。（森脇委員）

・大学や専門学校という進路を考える際には、その先の職業のことも指導している。（首席）

・授業の評価に関する質問が特に高評価だが、その要因は何か。（森脇委員）

・授業ではペア活動やグループワークが多く、生徒が楽しそうに受けている。（校長）

・ICTの導入が本格的になり、上手く授業に取り入れられる教員が増えた。（指導教諭）

・清掃に関する評価も上がっているが、どのような活動をしたのか。（吉田委員長）

・保健部を中心にキャンペーンなどの美化活動の指導が行った。（生徒指導主事）

・「早い段階で指定校推薦の情報が知りたい」という意見への対応はあるか。（中田委員）

・確定していない情報を誤解のないように伝える方策を現在模索している。（教頭）

・「部活動の時間が短い」という意見に対する対策はあるか。（吉田委員長）

- ・府の示した部活動方針の影響が大きい。その趣旨を適切に伝えることが大切。(校長)
- ・「授業が楽しい、分かりやすい」と答えた割合が高いのは、先生方の生徒との関わりがしっかり反映されていると思う。(中山委員)
- ・進路実績が上がったことで学力が上がったわけではない。(白川委員)
- ・スマホの使用に関するルールは、保護者の賛同を得られているか。(白川委員)
- ・近隣の高校もルール自体は同じ。違反に対する指導内容の見直しは必要。(生徒指導主事)
- ・ルールとはすなわち生徒との約束事、しっかりと守らせることは重要。(中田委員)

(4) 交野高校に期待すること

- ・学校説明会は絶好のアピールの場、本校の良さを一層伝えてほしい。(吉田委員長)
- ・SNSを上手く活用してアピールをしている学校は人気がある。(森脇委員)

以上